

## 科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 5 月 22 日現在

機関番号：23903

研究種目：若手研究（B）

研究期間：2009～2012

課題番号：21792328

研究課題名（和文） 自殺防止のための包括的ケアシステム構築に関する研究

研究課題名（英文） Research on the comprehensive care systems configuration for the prevention from suicide

研究代表者

足立 勝宣（ADACHI KATSUNORI）

名古屋市立大学・看護学部・助教

研究者番号：30517256

研究成果の概要（和文）：定期健康診断にて抑うつ症状に関する質問を法定外の検査項目として付加し、メンタルヘルス対応も合わせて事後措置へと位置づけた。自己記入式の抑うつ尺度質問票（CES-D）を用いて抽出された不調者 18 名に対して事後措置を講じた結果、1 年後の健診結果における改善値に有意な相関が認められた。また、アミラーゼ活性値と CES-D には有意な相関が認められた。

研究成果の概要（英文）：In this study, legally unstipulated screening items related to depressive symptoms were added to regular health examinations and follow-up mental health intervention was provided with the aim of developing effective follow-up measures for mental health support. Eighteen participants identified as symptomatic by the self-reporting Center for Epidemiologic Studies Depression Scale (CES-D) received follow-up measures. A positive correlation in the level of improvement was observed on the health examination results one year later. AND Results demonstrated a significant correlation between salivary amylase activity and the CES-D.

交付決定額

（金額単位：円）

	直接経費	間接経費	合計
2009 年度	1,600,000	480,000	2,080,000
2010 年度	600,000	180,000	780,000
2011 年度	600,000	180,000	780,000
2012 年度	600,000	180,000	780,000
総計	3,400,000	1,020,000	4,420,000

研究分野：医歯薬学

科研費の分科・細目：看護学、地域・老年看護学

キーワード：自殺防止、ケアシステム、心の健康づくり、うつ病、スクリーニング

### 1. 研究開始当初の背景

平成 10 年以降の自殺者統計が示す特徴的な事項は、男性の働く世代における自殺が顕著に増加していることである。平成 18 年 4 月 1 日施行の改正労働安全衛生法によって長時間労働者への医師による面接指導の実施が盛り込まれたほかは、メンタルヘルス対策に関して、法的措置による具体的な介入手段は存在しないため、何らかの対応策を考案する必要性があった。また自己記入式の抑うつ評価尺度を用いた検査は、被験者の主観的判断のみに頼らざるを得ないことから生物学的尺度の確立は急務であった。

### 2. 研究の目的

(1) 職域集団を対象に自殺のリスクが高い者を早期にスクリーニングすることでその有効性を確認し、その後のシステム構築に至る過程を示す基礎資料とする。

(2) 唾液アミラーゼを用いた抑うつ度評価に関する有用性を検証することで、生物学的指標の確立を目指す。

### 3. 研究の方法

定期健康診断に抑うつ評価尺度 (CES-D) を用いた検査、および唾液アミラーゼを用いた検査を法定外項目として盛り込み、検査結果に応じた事後措置を講じることで、介入前後における効果を検証する。また、抑うつ評価尺度 CES-D 得点と唾液アミラーゼ活性値との相関性を検証する。

### 4. 研究成果

(1) CES-D 得点が 16 点以上にて、気分障害

群として判定された 18 名に対してアフターフォローを実施し、平成 23 年度 CES-D 得点との比較検討を進め、効果の検証を行った。平成 22 年度における CES-D 得点 (以降、CES-D (H22)) とアフターフォロー後の CES-D 得点の改善値 (以降、CES-D 改善値 (H22-H23)) を変数とし、解析を進めた。統計解析は、両変数の関係を散布図と Spearman 順位相関係数にて検証した。CES-D (H22) と CES-D 改善値 (H22-H23) との散布図を示す (図 1)。両変数には正の相関関係が確認され、直線傾向から逸脱した被験者が数名観測された。両変数の Spearman 順位相関係数は 0.620 (P=0.006) であった。両変数の順位値に注目すると、両変数には有意な正の相関が認められ、CES-D (H22) が高値であり、状態の悪い被験者ほどアフターフォローの効果が大きかったといえる。

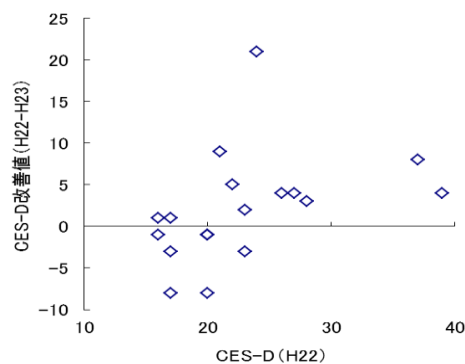


図 1 CES-D(H22) と CES-D 改善値(H22 - H23) の相関 (散布図)

(2) 唾液アミラーゼ活性値を用いたうつ病スクリーニングの有用性を検証するため、唾液を検体として得られた対象 97 名について、

CES-D12～19 点の範囲において、分割点毎の ROC 解析を用いた。その結果、分割点 13 点 (13 点以上を気分障害群)、分割点 14 点 (14 点以上を気分障害群)、分割点 15 点 (15 点以上を気分障害群) にて、有意差を認めた。なお判別能は、分割点 14 点にて AUC 0.671 を認め、最も高かった (表 1)

CSE-D 分割点	AUC	漸近有意確率	アミラーゼ活性値の最適カットオフ値
12	0.606	0.081	3.450
13	0.646	0.014	3.481
14	0.671	0.004	3.511
15	0.664	0.006	3.511
16	0.615	0.055	3.541
17	0.606	0.085	3.569
18	0.591	0.150	3.569
19	0.588	0.187	3.597

#### 5. 主な発表論文等

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

[雑誌論文] (計 3 件)

Valuation of the effectiveness of a system for screening depression in regular health examinations and provision of follow-up measures, 著者; 足立勝宣, 井坪加奈恵, 掲載誌;医学と生物学 第 156 卷 第 11 号 P 723-728, 査読;有 発行年;2012 年

Effectiveness of a Screening Test for Depression Using Salivary Amylase: Comparison with the Center for Epidemiologic Studies Depression Scale, 著者;足立勝宣, 掲載誌;医学と生物学 第

155 卷 第 8 号 P 510-517, 査読;有 発行年;2011 年

唾液アミラーゼを用いたうつ病スクリーニングの有用性に関する検討, 著者;足立勝宣, 掲載誌;名古屋市立大学看護学部紀要 第 9 卷 P 13-19, 査読;有 発行年;2010 年

[学会発表] (計 1 件)

多角的判断指標に基づくうつ病スクリーニングの有用性に関する検討, 第 68 回日本公衆衛生学会総会, 発表者;足立勝宣 発表年;2009 年

[図書] (計 1 件)

うつ病チェック健康診断での義務化へ向けた課題, 著者;足立勝宣, 掲載誌;公衆衛生情報 3 月号 P36-39, 査読;有 発行年;2011 年

[産業財産権]

○出願状況 (0 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号:

出願年月日:

国内外の別:

○取得状況 (計 0 件)

名称:

発明者:

権利者:

種類:

番号：

取得年月日：

国内外の別：

[その他]

ホームページ等

## 6. 研究組織

### (1) 研究代表者

足立 勝宣 (ADACHI KATSUNORI)

名古屋市立大学 看護学部・助教

研究者番号：30517256

### (2) 研究分担者

( )

研究者番号：

### (3) 連携研究者

西山 毅 (NISHIYAMA TAKESHI)

名古屋市立大学病院

臨床試験管理センター・助教

研究者番号：40571518

井坪 加奈恵 (ITSUBO KANAE)

中日本自動車短期大学・保健師

研究者番号：登録なし

松久 智香子 (MATSUHISA CHIKAKO)

岐阜車体工業株式会社・保健師

研究者番号：登録なし

猪飼 真由美 (IKAI MAYUMI)

医療法人 岐陽会

サンライズクリニック・保健師

研究者番号・登録なし